

第 20 回全国中学生弓道大会
JOCジュニアオリンピックカップ大会

大会出場の手引き

第 20 回全国中学生弓道大会実行委員会

第 20 回全国中学生弓道大会、JOCジュニアオリンピックカップ大会が、実施要項のとおり開催される運びとなりました。

本手引きには、日程や注意事項など重要事項が掲載されておりますので、ご熟読の上、大会への参加をお願いいたします。また、大会期間中は常に携行するようお願いいたします。

目次

1. 実施要項	3・4頁
2. 弓道競技規則抜粋	5頁
3. 大会スケジュール	6頁
4. 受付について	6頁
5. 公開練習／巻藁について	6頁
6. 監督会議／事前質問書について	7頁
7. 式典について	7頁
8. 競技について	7～9頁
9. 競技運行について	10頁
10. 注意事項	10・11頁
11. その他	11頁
12. 問合せ先について	11頁
13. 会場案内	11・12頁
14. 参加一覧／予選立順一覧	13～16頁
【各種届出書】	
事前質問書	17頁
立射申請書	18頁
選手変更届	19頁
選手交代届	20頁
監督変更届	21頁

1. 実施要項 ※当初より一部変更有

第20回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会 実施要項

1. 目的 中学校教育の一環として、中学校生徒に広く弓道競技の実践の機会を与え、技能向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な中学校生徒を育成するとともに、相互の親睦を図る。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 後援 スポーツ庁・公益財団法人日本オリンピック委員会〔JOC〕・公益財団法人日本中学校体育連盟
東京都教育委員会・公益財団法人東京都体育協会・明治神宮・一般財団法人明治神宮崇敬会
公益財団法人日本武道館
4. 主管 東京都弓道連盟
5. 期日 令和5年8月19日（土）・20日（日）
※公開練習は行わない。
6. 会場 全日本弓道連盟中央道場／明治神宮武道場至誠館弓道場
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1
TEL：03-5302-5865
7. 競技種目 近的競技
8. 競技種類 団体競技・個人競技
9. 競技種別 男子の部・女子の部
10. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
11. 競技日程 8月19日 男子の部／8月20日 女子の部
各日共通
~~9：00～~~ 開会式
8：45～ 返還式
~~開会式終了後~~ 矢渡
9：30～ 団体・個人 予選
予選終了後 昼食休憩
13：30～ 団体 決勝トーナメント
16：20～ 個人 決勝
17：00～ 閉会式
12. 競技方法 (1) 団体競技
1) チーム編成
①競技は、両種別とも3人立で行う。
②チームの登録は、両種別とも監督1名、選手4名以内とし、選手の立順（行射の順番）は参加申込時の登録順とする。
2) 予選
①両種別とも各自4射2回にて的中数の上位16チームを決勝トーナメント進出とする。
②決勝トーナメント進出の為の同中競射は、両種別とも各自1射にて、総的中数の多いチームを上位とする。
なお、1回の競射で順位が決まらない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
3) 決勝トーナメント
①両種別とも各自4射1回のトーナメント法で行う。
②同中の場合は、両種別とも、各自1射にて、総的中数の多いチームの勝ちとする。
なお、1回の競射で勝敗が決まらない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
(2) 個人競技
1) チーム編成
両種別とも監督1名、選手1名とする。
2) 予選
各自4射2回にて5中以上の的中者を決勝進出とする。
3) 決勝
射詰競射にて順位を決定し、継続的中数の多い方を上位とする。
9本目以降は、直径24cm星的を使用する。
的中を逸した同位者は、直径36cm霰的を使用し遠近競射を行う。
ただし、最上位者（優勝者）を決定する場合は、射詰競射を継続する。
(3) 制限時間については大会出場の手引きに記載する。
(4) 選手監督の変更及び交代については大会出場の手引きに記載する。

13. 表彰 (1) 団体競技(両種別共通)
 1) 優勝チームに本連盟よりカップ(持ち回り)、賞状及びメダルを授与する。
 2) 2位～5位のチームに本連盟より賞状及びメダルを授与する。
 (3位2チーム・5位4チーム)
 3) 技能優秀チームを選考し、本連盟よりカップ(持ち回り)及び賞状を授与する。
 (2) 個人競技(両種別共通)
 1) 優勝者に本連盟より賞状及びメダルを授与する
 2) 2位～8位に本連盟より賞状及びメダルを授与する。
 3) 技能優秀者を選考し、本連盟より楯及び賞状を授与する。
14. 参加資格 (1) 選手及び監督は所属する都道府県弓道連盟が選抜し代表として認証を受けた者であること。
 (2) 選手は当該都道府県に在住または在学中とする。
 (3) 両種別とも各都道府県から団体競技は1チーム、個人競技は1名とする。
 (4) 北海道は両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
 (5) 東京都は開催地参加枠として、両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
 (6) 両種別とも前年度優勝チームは、団体競技の優先出場を認める。
 (7) 両種別とも前年度技能優秀チームは、団体競技の優先出場を認める。
15. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」、大会要項及び大会出場の手引きによる。
16. 参加料 団体15,000円 個人5,000円
17. 参加申込 (1) 方法
 所定の様式の参加申込書を本連盟までメールで送信すること。公印は省略する。
 全日本弓道連盟 → 各都道府県弓道連盟 → 参加校(必要事項入力) →
 各都道府県弓道連盟(参加資格確認) → 全日本弓道連盟(電子データによる申込受付完了)
 ・参加申込書は本連盟ホームページからもダウンロードが出来る。
 ・都道府県の代表となった学校(チーム)は参加申込書の様式に必要な事項を入力し、所属する
 各都道府県弓道連盟事務局に電子データを送信するとともに参加料を納入すること。
 ・各都道府県弓道連盟事務局は、取り纏めた電子データを次の(3)に示すメールアドレスに
 申込添書を添えて電子メールで送信すること。
 (2) 注意点:参加チームは申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。
 原則として各チームから本連盟に直接申し込み(送金)をせず、地連が取り纏めて
 行うこと。
 (3) 申込先 E-mail: taikaikanri@kyudo.jp
 ※メールの件名を「第20回全国中学生弓道大会参加申込【都道府県名】」すること。
18. 締切日 令和5年7月21日(金)厳守
 ※但し、各地連の日程都合により間に合わない場合、個別対応する。(事前連絡要)
19. 宿泊
20. 注意事項 (1) 本大会の団体競技優勝及び技能優秀のチームには、次回大会の参加権を与える。
 (2) 大会参加にあたり、後日都道府県弓道連盟経由で配布の「大会出場の手引き」を確認すること。
 (3) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
 (4) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。
 (5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険
 に加入することが望ましい。
 (6) 参加者は健康保険証を持参のこと。
21. 映像の取り扱いについて
 個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体
 となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。
 権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。
22. その他 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
 ただし、下記(2)の月刊『弓道』・ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出が
 あった場合は、公開を停止する。
 (1) 大会プログラムならびに関係書類への記載(氏名、所属地連、称号、段位)
 (2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載(氏名、所属
 地連、称号、段位、写真)
 (3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。
 関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

2. 公益財団法人全日本弓道連盟弓道競技規則【平成28年4月1日改定】
 (第20条、第21条抜粋)

<p>第20条 〔弓具の規定〕</p> <p>使用する弓具は、伝統的な形状のものでかつ危険を及ぼす恐れのないものとする。</p> <p>(別紙20条 P-16伝統的な弓具図解概要参照)</p> <p>(1) 弓は、日本弓(和弓)とし、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、221cm(7尺3寸)を標準とし、若干の長短は認める。</p> <p>(イ) 握りは、本弰から約3分の1の辺りにある。</p> <p>(ウ) 矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。</p> <p>(エ) 照準のための装置や、矢摺籐に作為的な目印がない。</p> <p>(オ) 材質は、竹・木または新素材(グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(2) 矢は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、各自の矢束に従い安全な長さとする。</p> <p>(イ) 籐の太さは、直径6mm以上とする。</p> <p>(ウ) 籐の材質は、竹または新素材(アルミ、グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(エ) 羽根は、鳥の羽根を3枚使用し甲矢、乙矢の区別がある。</p> <p>(オ) 羽丈(羽根の長さ)は、近的競技は13cm~15cm、遠的競技は9cm~15cmとする。</p> <p>(カ) 羽山(羽根の高さ)は、5mm以上とする。</p> <p>(キ) 本矧、末矧および筈巻がある。</p> <p>(ク) 筈は、埋込式で筈溝がある。</p> <p>(ケ) 筈は、筈溝以外の機能(蛍光、発光など)を有しない。</p> <p>(コ) 板付はかぶせ式とし、平題形、椎実形あるいは円錐形のいずれかである。</p> <p>(サ) 引込位置などを示す目印や類似のことがない。</p> <p>(3) 弦は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 撚って一本になっている。</p> <p>(イ) 材質は、麻または新素材などでもよい。</p> <p>(4) 碟(ゆがけ)は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 行射では、必ず右手に碟を着用する。</p> <p>(イ) 三つ碟、四つ碟あるいは諸碟のいずれかを使用する。</p> <p>(ウ) 控、帽子および弦枕がある。</p> <p>(エ) 材質は鹿革とする。</p> <p>(5) 補助具など</p> <p>伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他の物を付けてはならない。</p>	<p>20</p> <p>* 弓具については使用目的や利用者の体格や技量などによって様々な種類があり、適切な選択が望ましく、競技の種類によっては大会要項で規定されることもある。新素材の弓具の使用は許容されるが、特に弓、籐、羽根、弦、碟の色彩については、武道の精神に鑑み、伝統的な色・柄が望ましく、けばけばしくないものとする。</p> <p>* 競技には日本弓を使い、洋弓を使用しないことを規定したものである。</p> <p>日本弓の標準的長さは221cm(並寸)で、現在は6cm~18cm伸などがあり、また逆に3cm~12cm詰などがあるので、長短を認めることとした。日本弓の特徴は長弓であるとともに、握りの位置は、中心から下で全長の約3分の1の辺にある。したがって「約」として規定した。</p> <p>籐の節は目印と見做さない。ただし作為的に籐の節目が目印となるような巻き方をしてはならない。</p> <p>* 日本弓に洋弓の特殊な形態をした羽根の矢、羽丈の短いもの、羽山の低すぎるものなど、伝統的な形態を損なっているものや鳥以外の材質のものは使用しない。「鳥獣保護に関する法律」を順守し、不法捕獲による鳥の羽根は使用を禁止する。</p> <p>* 中仕掛けに付ける伝統的な「探り(露)」は目印と見做さない。</p> <p>* 矢筈に関し、「筈巻付き被せ式筈」の使用は認める。ただし伝統的な形状でありかつ危険を及ぼす恐れがないことに十分注意すること。</p> <p>* 「諸碟・角入り三本碟」は、控があるものと見做す。中学生・高校生など初心者については「柔帽子、和帽子」の使用を認める。ただし習熟するに従いできるだけ早い機会に弦枕のある碟を使用することが望ましい。</p> <p>* 伝統的な押手補助具としては、押手碟(拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指)がある。</p>
<p>第21条 〔服装の規定〕</p> <p>1) 競技の服装は、弓道衣[筒袖、袴および白足袋] または和服[着物、袴および白足袋]とする。</p> <p>ただし競技によっては、大会要項で服装を規定できる。</p> <p>2) 下記の大会については男子女子ともに弓道衣[白筒袖、黒袴および白足袋]とする。</p> <p>(1) 全日本男子弓道選手権大会</p> <p>(2) 全日本女子弓道選手権大会</p> <p>(3) 全日本弓道遠的選手権大会</p> <p>(4) 全日本勤労者弓道選手権大会</p> <p>(5) 国民体育大会弓道競技会</p> <p>3) 弓道衣にマーク(氏名、チーム名、クラブ名および学校名など)を付ける場合は、筒袖および袴それぞれ1か所のみとし、その大きさは縦横10cm以内とする。</p>	<p>21</p> <p>* 服装の色合いについては、第21条2)と特に大会要項で定める場合を除き定めない。</p> <p>* 筒袖の袖の長さは、肘程度が望ましい。</p> <p>* 弓道衣下の下着は、無地とし、襟付き・ハイネックは好ましくない。</p> <p>* 初心者は、運動服着用を認めるが、前ボタン・前チャックの物は避けること。</p> <p>* 袴は、男子は腰板があるもの、女子は腰板のないものが一般的である。行燈袴は好ましくない。袴の裾は、足踏の姿勢で床面に着かないことが望ましい。</p> <p>* 国民体育大会少年種別の紺袴は大会要項により認める。</p> <p>* 弓道衣に会社の宣伝効果をねらった必要以上の大きさのマークをつけることは好ましくない。</p> <p>しかし、チーム名をつけることは逆に進行状況がわかり、ゼッケン替りになることもあり、また、選手は愛社心も出てくるので推奨したい。</p>

3. 大会スケジュール

(1) 大会日程 (両日共通)

	予定時刻	中央道場	至誠館弓道場
19日 (土) 男子	8:00	開館 (中央道場玄関・観覧席) 受付 (8:30まで)	入館は中央道場から
	8:45	優勝・技能優秀カップ 返還式	
	9:30	団体予選1回目 団体 No.1~21	団体予選1回目 団体 No.22~44
		個人予選1回目 立順 No.1~27	個人予選1回目 立順 No.28~43
	11:00	団体予選2回目 団体 No.22~44	団体予選2回目 団体 No.1~21
個人予選2回目 立順 No.28~43		個人予選2回目 立順 No.1~27	
20日 (日) 女子	予選終了後	団体決勝トーナメント進出の為の 同中競射	
		昼食休憩	昼食休憩
	13:30	団体決勝トーナメント1回戦	団体決勝トーナメント1回戦
	14:30	団体決勝トーナメント2回戦	/
	15:30	団体決勝トーナメント準決勝	
	16:00	団体決勝トーナメント決勝	
	16:20	個人決勝	
	17:00	表彰式	

※上記時間帯は進行状況により開始時刻が前後するので注意してください。

※昼食休憩のほか、小休止を挟みます。

※第3控までに選手及び監督が確認できない場合は失権となります。

※期間中は至誠館弓道場玄関からの出入りはできません。中央道場玄関から出入りしてください。

※招集の開始時間は原則として各競技の開始ならびに再開の15分前とします。

(2) 参加一覧/予選立順一覧

13頁～16頁に掲載

4. 受付について

(1) 以下の時間帯で必ず受付を行うこと。大会プログラム及び選手章等を配付する。

開館～8:30 中央道場1階 (19日・男子/20日・女子)

(2) 前年度優勝チームは優勝カップを、前年度技能優秀チームは技能優秀カップを受付時に必ず持参すること。

5. 公開練習/巻藁について

<公開練習>

今大会は公開練習としての会場の開放はありません。

<巻藁会場>

期間中、中央道場2階の巻藁室を開放する。

ただし、両日とも9:00までは立順番号の早い団体を優先とします。

6. 監督会議／事前質問書について

日程の都合により監督会議は行わない。

質問がある場合は、巻末（P17）事前質問書にて8月14日（月）までに提出のこと。

質問の回答は事前もしくは受付時に個別に回答し、全体に共有すべきと実行委員会が判断した内容については全体に配布する。

7. 式典について

（1）優勝・技能優秀カップ返還式

熱中症予防のために全体集合の開会式は実施せず返還式として実施する。

各日8：45より中央道場射場にて出席者は、前年度優勝チーム代表者2名、前年度技能優秀チーム代表者2名、選手宣誓者のみとする。5分前には整列すること。

選手宣誓は東京都団体出場校（男子・慶應義塾中等部／女子・東京都立桜修館中等教育学校）の選手代表者をお願いいたします。

（2）表彰式

競技終了後、中央道場射場にて行う。

入賞選手及び監督は競技終了後速やかに射場控に集合し競技役員の指示に従うこと。

選手は弓道衣（白筒袖・袴・白足袋）を着用し参加すること。

（3）式次第

返還式	表彰式
1. 開式通告	1. 開式通告
2. 優勝・技能優秀カップ返還 レプリカ授与	2. 成績発表
3. 大会会長あいさつ	3. 表彰
4. 選手宣誓	4. 閉式通告
5. 閉式通告	

8. 競技について

（1）団体競技

①射場区分 予選は3射場、決勝トーナメントは2射場に分割して使用する。

②制限時間 予選・決勝ともに1立7分30秒以内とする。

ア) 制限時間の計時は、進行委員の「始め」の合図により開始する。

イ) 制限時間30秒前に予鈴（1音）、制限時間超過時に本鈴（2音）で合図する。

ウ) 本鈴と同時に射離した矢は無効とする。

エ) 制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。

オ) 射場審判委員から行射停止指示が出た場合は、制限時間の規定を適用しない。

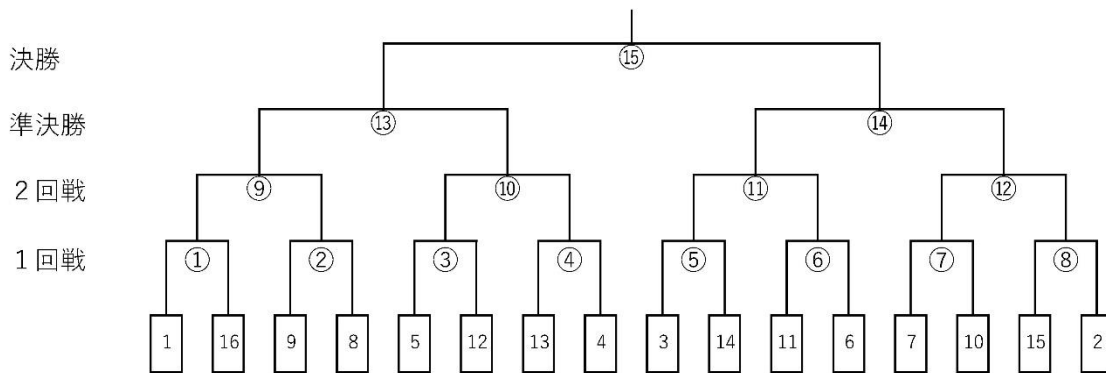
カ) 自団体内に起因する事故（弦切れ処理等）の場合は、制限時間内で行う。

キ) 同中競射については制限時間を設けませんが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。

③決勝トーナメントの組み合わせについて

抽選会を行わず、予選順位により決定することとします（次頁図参照）。

同的中の場合の順位は、予選立番号の小さい方を上位とします。



決勝トーナメント組み合わせ表

- ※1 四角内数字は予選での順位を示し、丸で囲った数字は、トーナメント立順を表します。
- ※2 例：①組合せの場合、左側のチーム1が第一射場、右側のチーム16が第二射場となります。
②以降は同じ考え方で運行します。
- ※3 1回戦は①～④が中央道場、⑤～⑧は至誠館の2会場で実施します。2回戦以降（⑨～⑮）は全ての試合を中央道場で実施します。

(2) 個人競技

- ①射場区分 予選は3人立3射場（中央道場・至誠館の2会場）、決勝は3人立2射場（中央道場）に分割して使用する。ただし、3人立で割り切れない場合は2人立となることがある。
- ②制限時間 特に設けないが、殊更の間伸びしないように各自が注意すること。

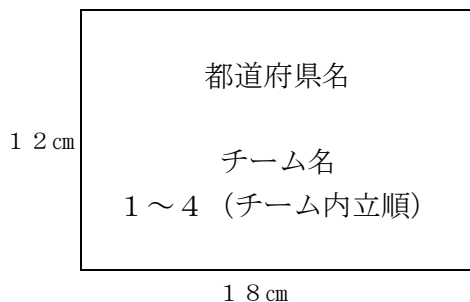
(3) 行射について

- ①公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」により行う。
但し、競技規則第15条4)に定められている取矢は行わなくともよいものとする。
なお、技能優秀の選考に取矢の実施は影響しない。
- ②次の矢は無効となり、「はずれ」として処理する。矢番え完了（矢番えた後、右手を腰にとった時点）後に、筈が弦から外れた場合、打起し開始後に、射直した場合。
- ③筈の破損による矢の交換は、矢番え完了前までは認める。矢を交換する際には選手が拳手で進行委員に申し出ること。
- ④矢が幕に刺さったり横になったりした場合、団体競技では他の射場に、個人競技では他の的に影響を及ぼさない限り競技を中断し矢取りを行わない。
- ⑤選手は四つ矢のほか替矢2本を準備すること。団体競技の決勝トーナメントにおける同中競射の1本目は替矢を使用する。
- ⑥弦切れの場合は、進行委員が替弦を張る。
- ⑦前の選手より先に射離した場合は、射場審判委員が無効を宣言し、「はずれ」として処理する。ただし、射位において前の選手が持矢を棄権した場合は、この限りではない。

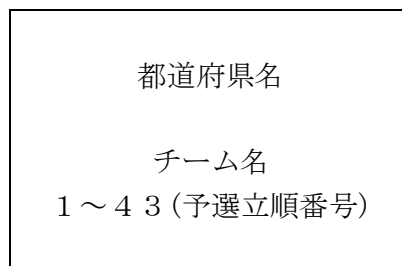
(4) ゼッケンについて

- ①選手はゼッケンを作製し、着用すること。
- ②ゼッケンのサイズは、縦12 cm×横18 cmとする。（次頁図参照）
- ③ゼッケンは白地とし、文字の色は、原則として男子は黒色、女子は赤色を使用し『都道府県名・チーム名・立順（個人は予選立順番号）』を明記すること。

<団体競技>



<個人競技>



(5) 弓具点検について

- ①大会当日、第3控にて弓具点検を実施するので、事前に点検し、必要に応じ修理を行っておくこと。違反した場合は、失権と判定する。ただし修正されればこの限りではない。
- ②弓道競技規則第20条〔弓具の規定〕、第21条〔服装の規定〕については、前掲にて確認すること。
- ③弾止めは危険防止のため使用を控えること。
- ④髪の毛の長い選手については、危険防止のためゴムなどで束ねておくこと。
- ⑤着装（特に帯や紐等）は正しく行うこと。また、選手章はゼッケンの下に付けること。

(6) 立射申請

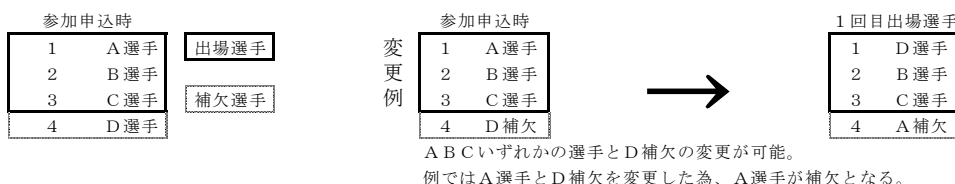
事情により立射を希望する場合は、所定の用紙に必要事項を記入の上、大会受付時に提出すること。

(7) 団体競技出場選手変更・交代及び監督の変更について

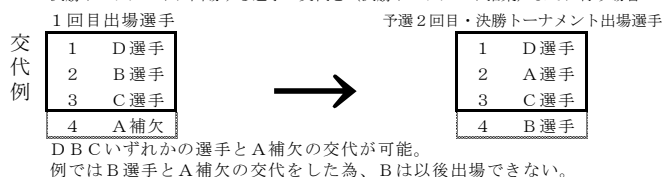
- ※選手=参加申込み時に登録を行った選手4名の中で、変更・交代を行うことができる。
- ※監督=参加申込み時に登録を行った監督以外の方を監督に変更することができる。

- ① 本手引きに掲載の所定の用紙に必要事項を記入の上、受付に提出すること。
- ②団体競技
 - ア) 選手の変更は、8：30までとする。
 - イ) 選手の交代は、予選の交代は2回目招集までとする。
決勝の交代は、決勝トーナメント招集までとする。
 - ※決勝トーナメント開始後（決勝トーナメント中）は選手の交代はできない。
 - ウ) 監督の変更は、8：30までとする。
- ③個人競技
 - ア) 監督の変更は、8：30までとする。

予選1回目開始前（8：30まで）に選手変更を行う場合



予選2回目に出場する選手の交代を（予選2回目招集まで）行う場合
決勝トーナメントに出場する選手の交代を（決勝トーナメント招集）までに行う場合



9. 競技運行について

(1) 団体競技

①予選

- ・選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。(原則として前の立、落の3本目の弦音)入場後は本座で跪坐をして待ち、進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。
- ・予選通過決定の同中競射においても上記と同様に行う。

②決勝トーナメント

- ・選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。(原則として前立の勝敗の宣言が終わり退場するあたり)入場後は本座で跪坐をして待ち進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は本座に戻り跪坐、進行委員の勝敗宣言の後、「起立、退場」の合図に従い退場すること。

(2) 個人競技

①予選

- ・選手は進行委員の指示に従い射場に入場。(原則として前立の落の3本目の弦音)入場後は、本座で跪坐をして待ち、進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。
- ・予選の結果、決勝進出者が入賞枠の8名に満たない場合は、通過者のみで決勝を行う。通過者が満たない場合の入賞順位は空位とする
- ・遠近競射の競技方法については、進行委員の指示に従うこと。

②決勝は、原則として、射詰競射を1射ずつ行うこととする。

(3) 監督の入場要領について

①団体競技

- ・監督は自チームの3番に続き入場し、選手の跪坐と同時に着座すること。

②個人競技

- ・選手の列・監督の列に分かれ入場。監督は椅子の後ろ側を通り選手の跪坐と同時に着座すること。

10. 注意事項

(1) 射場内にはぎり粉、筆粉の持ち込みを禁止する。

(2) 館内(中央道場及び至誠館)には関係者(選手・監督・引率・役員等)以外の者の立ち入りを禁止する。特に、選手監督控室のある中央道場2階への出入りの際は、セキュリティ確保の為、階段付近で受付時に配布する「選手章」及び「監督章」「引率ID」の確認を行う。また、前述のとおり、関係者以外の出入りを禁止する為、移動の際(私服時含む)も必ず「選手章」及び「監督章」「引率ID」を着用すること。

それ以外の者は入館できないので、応援者等の来訪者があった場合は、選手又は監督が「選手章」及び「監督章」「引率ID」が不要な場所まで移動をすること。

なお、今大会は競技種別(男子の部・女子の部)で大会日を分けているので、選手・監督・引率はそれぞれの出場日のみ(19日・男子/20日・女子)館内に入場することが出来ることとする。出場日以外は館内には入れませんのでご協力をお願いします。

(3) 控室は指定席とする。観覧席での場所取りは禁止する。特に観覧席は譲り合って使用すること。明治神宮内の芝地等にテントやパラソル等スペースを必要とする設置物の使用は禁止する。これらは応援者へも周知徹底を図ること。

控室内では床面や壁面を傷つけないよう注意すること。特に床や壁を使用しての弓張りは厳禁とする。

- (4) 弓具及び貴重品等は各自で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。また、ゴミは各団体でまとめ必ず持ち帰ること。
- (5) 会場は明治神宮苑内のため、苑内での発声を禁止し、射場及び観覧席からの応援は一切禁止する。但し、的中時の拍手のみ認める。
- (6) 会場内は裸足厳禁。必ず白足袋または靴下を着用すること。ストッキングは裸足とみなす。
- (7) 館内や苑内の自販機は数に限りがあるので水分の持参をすること。
- (8) 中央道場、至誠館共に観覧席を開放するが、熱中症予防兼混雑回避のため、観覧席の利用は、応援したいチーム・選手の出場前後 30～40 分程度の観覧として、その他の時間は木陰など風通しの良い場所で待機すること。また、席数に限りがあるので、譲り合って使用すること。
- (9) コロナ感染症対策としてのマスクの着用は自己判断ですが、マスク着用時には熱症に十分注意すること。
- (10) 会場内には看護師が待機しているので、体調が優れない場合は、近くの役員に申し出ること。

※以上の注意事項は応援者等にもご連絡をお願いします。特に厳しい暑さになる可能性もありますので熱中症には十分ご注意の上、各団体や各自（応援者含む）で万全の対策をお願いします。

1 1. その他

- (1) 会期中、全日本弓道具協会による出張弓具修理所を設ける。
- (2) 監督、応援者等の喫煙は所定の場所にて行うこと。
- (3) 実行委員会で許可した写真業者が競技の撮影を行う。

1 2. 問合せ先について

お問合せの際は、可能な限りメールにてお願いいたします。

第 20 回全国中学生弓道大会実行委員会 kanri3@kyudo.jp

1 3. 会場案内

全日本弓道連盟中央道場

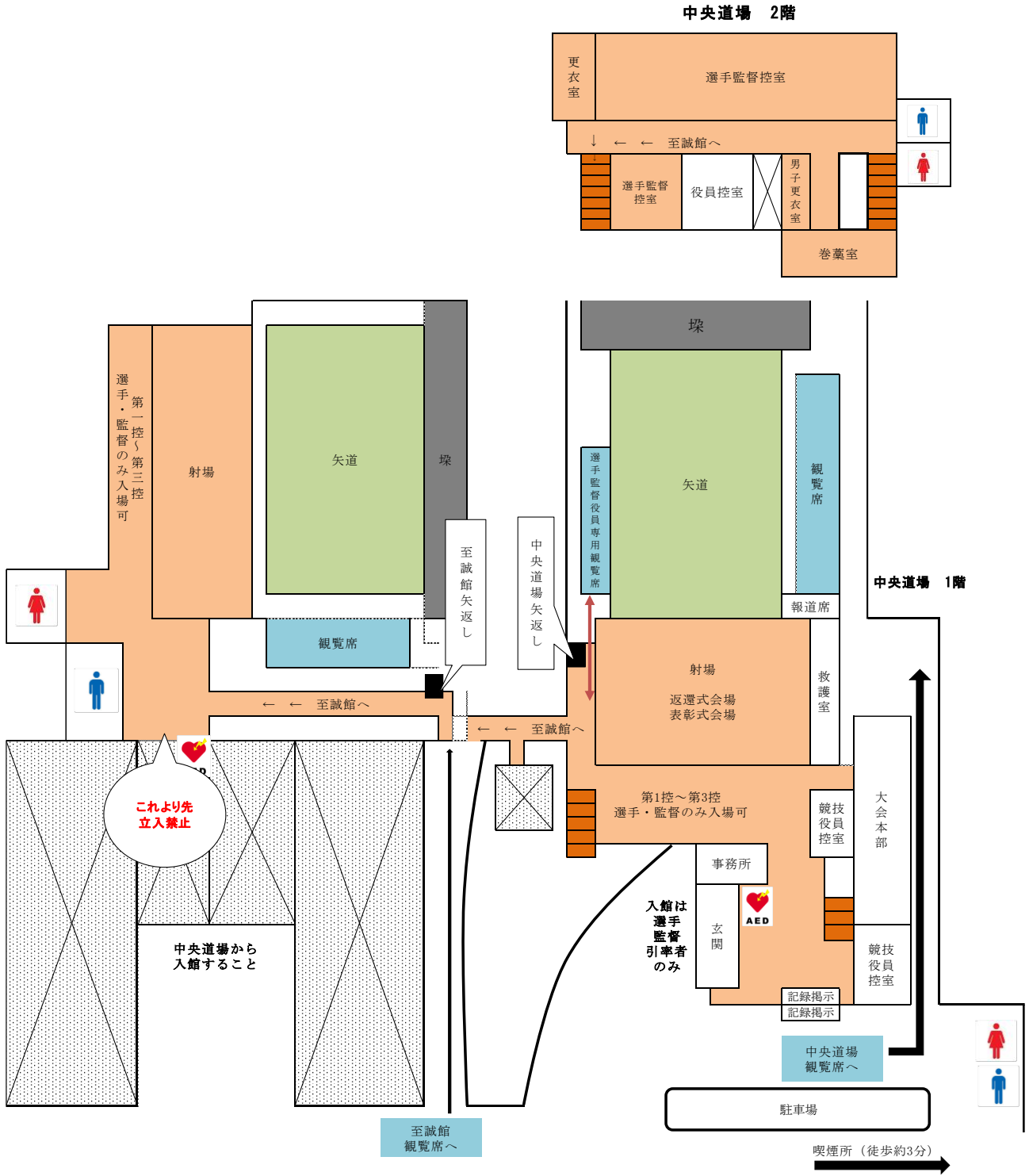
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町 1-1

TEL : 03-5302-5865

JR線・都営地下鉄「代々木駅」より徒歩約15分。小田急線「参宮橋駅」より徒歩約10分。



会場図



14. 参加一覧／予選立順一覧

団体競技・参加一覧

都道府県	男子の部		女子の部	
	立順	団体名	立順	団体名
北海道	3	大空町立東藻琴中学校	24	帯広の森弓道少年団
北海道	33	苫小牧中学校選抜	10	苫小牧中学校選抜
青森	—	—	—	—
岩手	—	—	31	いわて弓道ジュニア
宮城	41	多賀城市立東豊中学校	34	多賀城市立東豊中学校
秋田	21	角館大弓会	—	—
山形	36	山形県立東桜学館中学校	5	米沢市弓道スポーツ少年団
福島	39	福島県立会津学鳳中学校	16	福島県立会津学鳳中学校
茨城	13	東海村立東海南中学校	28	東海村立東海中学校
	43	阿見町立阿見中学校	30	私立茨城中学校
栃木	11	宇都宮市立豊郷中学校	19	鹿沼市立北犬飼中学校
			29	宇都宮市立鬼怒中学校
群馬	35	群馬少年弓道クラブ	35	群馬少年弓道クラブ
埼玉	10	秩父市立秩父第一中学校	12	所沢市弓道スポーツ少年団
千葉	24	成田高等学校附属中学校	20	松戸市立栗ヶ沢中学校
東京	37	城北中学校	21	東京都立桜修館中等教育学校
	12	慶應義塾中等部	26	芝浦工業大学附属中学校
神奈川	38	慶應義塾湘南藤沢中等部	27	慶應義塾湘南藤沢中等部
山梨	34	都留市立都留第二中学校	43	富士吉田市立下吉田中学校
新潟	31	三条弓道会	—	—
長野	42	長野日本大学中学校	33	長野市立長野中学校
富山	44	高岡市立伏木中学校	4	立山町立雄山中学校
石川	26	石川県立金沢錦丘中学校	41	羽咋市立邑知中学校
福井	27	福井県立高志中学校	22	福井県立高志中学校
静岡	23	静岡市立長田南中学校弓道部	39	沼津市立沼津高等学校中等部
愛知	18	幸田町立北部中学校	23	豊川市立南部中学校
岐阜	40	岐阜県選抜	7	垂井町立不破中学校
三重	—	—	1	四日市メリノール学院中学校
滋賀	30	滋賀県弓道連盟	—	—
京都	16	ヴィアートル学園洛星中学校	25	京都府立洛北高等学校附属中学校
大阪	28	浪速学院浪速中学校	11	上宮学園中学校
兵庫	17	甲南中学校	17	甲南女子中学校
奈良	19	橿原市立白橿中学校	15	橿原市立橿原中学校
和歌山	—	—	—	—
鳥取	25	鳥取市立東中学校	2	鳥取市立桜ヶ丘中学校
島根	5	開星中学校・高等学校	40	大田市立第一中学校
岡山	6	里庄町立里庄中学校	32	里庄町立里庄中学校
広島	15	広島県立広島中学校	18	尾道中学校
山口	4	美祢市立大嶺中学校	13	田布施町立田布施中学校
香川	—	—	—	—
徳島	20	板野町立板野中学校	37	鳴門市第二中学校
高知	32	土佐塾中学校	42	土佐塾中学校
愛媛	22	愛光中学校	8	日陽館
福岡	14	久留米市立三潞中学校	9	久留米市立三潞中学校
佐賀	9	早稲田大学系属早稲田佐賀中学校	6	佐賀県立武雄青陵中学校
	29	佐賀県立武雄青陵中学校		
長崎	7	海星中学校	36	長崎県立長崎東中学校
熊本	1	山鹿市立山鹿中学校	3	熊本市立鹿南中学校
大分	—	—	14	大分県選抜
宮崎	8	都城市立西中学校	38	串間市立串間中学校
鹿児島	2	鹿児島市立松元中学校	44	志布志市立松山中学校
沖縄	—	—	—	—

団体競技・予選立順一覧

男子の部			女子の部		
都道府県	立順	団体名	都道府県	立順	団体名
熊本	1	山鹿市立山鹿中学校	三重	1	四日市メリノール学院中学校
鹿児島	2	鹿児島市立松元中学校	鳥取	2	鳥取市立桜ヶ丘中学校
北海道	3	大空町立東藻琴中学校	熊本	3	熊本市立鹿南中学校
山口	4	美祢市立大嶺中学校	富山	4	立山町立雄山中学校
島根	5	開星中学校・高等学校	山形	5	米沢市弓道スポーツ少年団
岡山	6	里庄町立里庄中学校	佐賀	6	佐賀県立武雄青陵中学校
長崎	7	海星中学校	岐阜	7	垂井町立不破中学校
宮崎	8	都城市立西中学校	愛媛	8	日陽館
佐賀	9	早稲田大学系属早稲田佐賀中学校	福岡	9	久留米市立三潞中学校
埼玉	10	秩父市立秩父第一中学校	北海道	10	苫小牧中学校選抜
栃木	11	宇都宮市立豊郷中学校	大阪	11	上宮学園中学校
東京	12	慶應義塾中等部	埼玉	12	所沢市弓道スポーツ少年団
茨城	13	東海村立東海南中学校	山口	13	田布施町立田布施中学校
福岡	14	久留米市立三潞中学校	大分	14	大分県選抜
広島	15	広島県立広島中学校	奈良	15	橿原市立橿原中学校
京都	16	ヴィアトール学園洛星中学校	福島	16	福島県立会津学鳳中学校
兵庫	17	甲南中学校	兵庫	17	甲南女子中学校
愛知	18	幸田町立北部中学校	広島	18	尾道中学校
奈良	19	橿原市立白樫中学校	栃木	19	鹿沼市立北犬飼中学校
徳島	20	板野町立板野中学校	千葉	20	松戸市立栗ヶ沢中学校
秋田	21	角館大弓会	東京	21	東京都立桜修館中等教育学校
愛媛	22	愛光中学校	福井	22	福井県立高志中学校
静岡	23	静岡市立長田南中学校弓道部	愛知	23	豊川市立南部中学校
千葉	24	成田高等学校附属中学校	北海道	24	帯広の森弓道少年団
鳥取	25	鳥取市立東中学校	京都	25	京都府立洛北高等学校附属中学校
石川	26	石川県立金沢錦丘中学校	東京	26	芝浦工業大学附属中学校
福井	27	福井県立高志中学校	神奈川	27	慶應義塾湘南藤沢中等部
大阪	28	浪速学院浪速中学校	茨城	28	東海村立東海中学校
佐賀	29	佐賀県立武雄青陵中学校	栃木	29	宇都宮市立鬼怒中学校
滋賀	30	滋賀県弓道連盟	茨城	30	私立茨城中学校
新潟	31	三条弓道会	岩手	31	いわて弓道ジュニア
高知	32	土佐塾中学校	岡山	32	里庄町立里庄中学校
北海道	33	苫小牧中学校選抜	長野	33	長野市立長野中学校
山梨	34	都留市立都留第二中学校	宮城	34	多賀城市立東豊中学校
群馬	35	群馬少年弓道クラブ	群馬	35	群馬少年弓道クラブ
山形	36	山形県立東桜学館中学校	長崎	36	長崎県立長崎東中学校
東京	37	城北中学校	徳島	37	鳴門市第二中学校
神奈川	38	慶應義塾湘南藤沢中等部	宮崎	38	串間市立串間中学校
福島	39	福島県立会津学鳳中学校	静岡	39	沼津市立沼津高等学校中等部
岐阜	40	岐阜県選抜	島根	40	大田市立第一中学校
宮城	41	多賀城市立東豊中学校	石川	41	羽咋市立邑知中学校
長野	42	長野日本大学中学校	高知	42	土佐塾中学校
茨城	43	阿見町立阿見中学校	山梨	43	富士吉田市立下吉田中学校
富山	44	高岡市立伏木中学校	鹿児島	44	志布志市立松山中学校

個人競技・参加一覧

都道府県	男子の部			女子の部		
	立順	選手名	団体名	立順	選手名	団体名
北海道	35	渡邊 寿 光	美幌町立美幌中学校	22	春日 一 葉	帯広の森弓道少年団
北海道	5	高野 道	苫小牧市立青翔中学校	28	土屋 ひまわり	苫小牧市立明野中学校
青森	—	—	—	—	—	—
岩手	—	—	—	14	南澤 侑 幸	いわて弓道ジュニア
宮城	6	大江 樹	多賀城市立東豊中学校	10	秋葉 結 津	仙台市立広瀬中学校
秋田	8	藤澤 遥 陽	角館大弓会	—	—	—
山形	31	中臺 天 良	山形県立東桜学館中学校	29	山田 奈那香	米沢市弓道スポーツ少年団
福島	19	平塚 燈 真	福島県立会津学鳳中学校	24	武藤 雫	福島県立会津学鳳中学校
茨城	24	武石 龍 丸	私立茨城中学校	20	小島 柚 乃	清真学園中学校
栃木	17	油川 紘 人	宇都宮市立豊郷中学校	9	君波 咲 妃	鹿沼市立北犬飼中学校
群馬	32	堀 海 星	群馬少年弓道クラブ	41	山口 祈	群馬少年弓道クラブ
埼玉	12	澤登 真 尋	秩父市立秩父第一中学校	8	相馬 花 音	秩父市立秩父第一中学校
千葉	2	萩原 啓 太	渋谷教育学園幕張中学校	19	檜原 有 貴	松戸市立栗ヶ沢中学校
東京	30	ブイ ホアンナム	城北中学校	11	田上 花	東京都立桜修館中等教育学校
	28	大月 空 大	東京都立桜修館中等教育学校	25	今井 千 尋	東京都立桜修館中等教育学校
神奈川	14	小林 裕 聖	慶應義塾湘南藤沢中等部	23	田中 瑚 雪	慶應義塾湘南藤沢中等部
山梨	25	志村 敦 樹	都留市立都留第二中学校	12	佐藤 奈々未	都留市立都留第二中学校
新潟	37	小柳 雅 宗	三条弓道会	26	木村 こまち	三条弓道会
長野	7	裏 遼 眞	長野日本大学中学校	16	中原 鈴 葉	飯島町立飯島中学校
富山	18	林 宗太朗	高岡市立伏木中学校	7	松井 友桜奈	立山町立雄山中学校
石川	21	中谷 央 都	加賀市立山中中学校	38	田中 琴 音	羽咋市立邑知中学校
福井	9	岡本 拓 磨	福井県立高志中学校	6	高橋 未央那	福井市弓道協会
静岡	29	漆畑 晃 人	静岡市立長田南中学校弓道部	5	小泉 瑛梨珂	沼津市立沼津高等学校中等部
愛知	20	鈴木 爽 矢	大府市立大府中学校	37	蔵地 啓 衣	豊川市立南部中学校
岐阜	11	田島 陽	中津川市立第一中学校	2	宮野 紗 季	垂井町立不破中学校
三重	—	—	—	4	上田 結 菜	四日市メリノール学院中学校
滋賀	34	奥井 龍 信	滋賀県弓道連盟	—	—	—
京都	1	榊原 拓 己	ヴィアートル学園洛星中学校	39	小川 紗帆里	宇治市立東宇治中学校
大阪	41	野口 晃 絆	浪速学院浪速中学校	32	森 琴 海	浪速学院浪速中学校
兵庫	26	西本 晶 俊	六甲学院中学校	13	松田 萌乃葉	三田学園中学校
奈良	16	松村 寿 洸	橿原市立八木中学校	17	大内 真 琴	橿原市立橿原中学校
和歌山	—	—	—	—	—	—
鳥取	15	武田 倭 兎	鳥取市立東中学校	31	坂口 結 香	鳥取市立桜ヶ丘中学校
島根	10	亀本 直 幸	大田市立第一中学校	42	伊藤 優 那	大田市立第一中学校
岡山	27	佐藤 漣	船徳弓道会	1	佐藤 綾 音	里庄町立里庄中学校
広島	3	濱原 秀 隆	尾道中学校	34	長谷川 美 怜	広島県立広島中学校
山口	4	西島 広 晴	山口県立下関中等教育学校	35	隅 琴 葉	田布施町立田布施中学校
香川	—	—	—	—	—	—
徳島	23	安藝 千 隼	徳島市城東中学校	43	山本 朋 華	徳島市城西中学校
高知	33	中澤 来 斗	土佐塾中学校	30	山崎 葉 月	土佐塾中学校
愛媛	39	久万川 竜 星	日陽館	27	富田 尚 奈	愛光中学校
福岡	22	福田 力 也	筑前町立三輪中学校	15	平川 ひより	久留米市立三瀬中学校
佐賀	42	川島 弘 大	早稲田大学系属早稲田佐賀中学校	36	小池 由 佳	佐賀県立武雄青陵中学校
長崎	13	ジン 星伍	長崎南山中学校	40	坂田 美 羽	長崎県立長崎東中学校
熊本	38	村田 悠 太	山鹿市立山鹿中学校	18	酒井 みちる	山鹿市立山鹿中学校
大分	43	甲斐 唯 人	大分県選抜	33	干潟 凜 子	大分県選抜
宮崎	36	鴫 礼 雅	都城市立西中学校	3	瀬尾 由梨栞	都城市立祝吉中学校
鹿児島	40	川畑 雄 暉	鹿児島市立松元中学校	21	内田 琴 音	鹿児島市立松元中学校
沖縄	—	—	—	—	—	—

個人競技・予選立順一覧

男子の部				女子の部			
都道府県	立順	選手名	団体名	都道府県	立順	選手名	団体名
京 都	1	榑 原 拓 己	ヴィアトール学園洛星中学校	岡 山	1	佐 藤 綾 音	里庄町立里庄中学校
千 葉	2	萩 原 啓 太	渋谷教育学園幕張中学校	岐 阜	2	宮 野 紗 季	垂井町立不破中学校
広 島	3	濱 原 秀 隆	尾道中学校	宮 崎	3	瀬 尾 由 梨 栞	都城市立祝吉中学校
山 口	4	西 島 広 晴	山口県立下関中等教育学校	三 重	4	上 田 結 菜	四日市メリノール学院中学校
北海道	5	高 野 道	苫小牧市立青翔中学校	静 岡	5	小 泉 瑛 梨 珂	沼津市立沼津高等学校中等部
宮 城	6	大 江 樹	多賀城市立東豊中学校	福 井	6	高 橋 未 央 那	福井市弓道協会
長 野	7	夷 遼 眞	長野日本大学中学校	富 山	7	松 井 友 桜 奈	立山町立雄山中学校
秋 田	8	藤 澤 遥 陽	角館大弓会	埼 玉	8	相 馬 花 音	秩父市立秩父第一中学校
福 井	9	岡 本 拓 磨	福井県立高志中学校	栃 木	9	君 波 咲 妃	鹿沼市立北犬飼中学校
島 根	10	亀 本 直 幸	大田市立第一中学校	宮 城	10	秋 葉 結 津	仙台市立広瀬中学校
岐 阜	11	田 島 陽	中津川市立第一中学校	東 京	11	田 上 花	東京都立桜修館中等教育学校
埼 玉	12	澤 登 真 尋	秩父市立秩父第一中学校	山 梨	12	佐 藤 奈 々 未	都留市立都留第二中学校
長 崎	13	ジ ン 星 伍	長崎南山中学校	兵 庫	13	松 田 萌 乃 葉	三田学園中学校
神奈川	14	小 林 裕 聖	慶應義塾湘南藤沢中等部	岩 手	14	南 澤 侑 幸	いわて弓道ジュニア
鳥 取	15	武 田 倭 兎	鳥取市立東中学校	福 岡	15	平 川 ひより	久留米市立三瀨中学校
奈 良	16	松 村 寿 洸	橿原市立八木中学校	長 野	16	中 原 鈴 葉	飯島町立飯島中学校
栃 木	17	油 川 紘 人	宇都宮市立豊郷中学校	奈 良	17	大 内 真 琴	橿原市立橿原中学校
富 山	18	林 宗 太 朗	高岡市立伏木中学校	熊 本	18	酒 井 み ち る	山鹿市立山鹿中学校
福 島	19	平 塚 燈 真	福島県立会津学鳳中学校	千 葉	19	檜 原 有 貴	松戸市立栗ヶ沢中学校
愛 知	20	鈴 木 爽 矢	大府市立大府中学校	茨 城	20	小 島 柚 乃	清真学園中学校
石 川	21	中 谷 央 都	加賀市立山中中学校	鹿 児 島	21	内 田 琴 音	鹿児島市立松元中学校
福 岡	22	福 田 力 也	筑前町立三輪中学校	北 海 道	22	春 日 一 葉	帯広の森弓道少年団
徳 島	23	安 藝 千 隼	徳島市城東中学校	神 奈 川	23	田 中 瑚 雪	慶應義塾湘南藤沢中等部
茨 城	24	武 石 龍 丸	私立茨城中学校	福 島	24	武 藤 雫	福島県立会津学鳳中学校
山 梨	25	志 村 敦 樹	都留市立都留第二中学校	東 京	25	今 井 千 尋	東京都立桜修館中等教育学校
兵 庫	26	西 本 晶 俊	六甲学院中学校	新 潟	26	木 村 こ ま ち	三条弓道会
岡 山	27	佐 藤 漣	船穂弓道会	愛 媛	27	冨 田 尚 奈	愛光中学校
東 京	28	大 月 空 大	東京都立桜修館中等教育学校	北 海 道	28	土 屋 ひ ま わ り	苫小牧市立明野中学校
静 岡	29	漆 畑 晃 人	静岡市立長田南中学校弓道部	山 形	29	山 田 奈 那 香	米沢市弓道スポーツ少年団
東 京	30	ブ イ ホ アン ナ ム	城北中学校	高 知	30	山 崎 葉 月	土佐塾中学校
山 形	31	中 臺 天 良	山形県立東桜学館中学校	鳥 取	31	坂 口 結 香	鳥取市立桜ヶ丘中学校
群 馬	32	堀 海 星	群馬少年弓道クラブ	大 阪	32	森 琴 海	浪速学院浪速中学校
高 知	33	中 澤 来 斗	土佐塾中学校	大 分	33	千 瀧 凜 子	大分県選抜
滋 賀	34	奥 井 龍 信	滋賀県弓道連盟	広 島	34	長 谷 川 美 怜	広島県立広島中学校
北海道	35	渡 邊 寿 光	美幌町立美幌中学校	山 口	35	隅 琴 葉	田布施町立田布施中学校
宮 崎	36	鴫 礼 雅	都城市立西中学校	佐 賀	36	小 池 由 佳	佐賀県立武雄青陵中学校
新 潟	37	小 柳 雅 宗	三条弓道会	愛 知	37	蔵 地 啓 衣	豊川市立南部中学校
熊 本	38	村 田 悠 太	山鹿市立山鹿中学校	石 川	38	田 中 琴 音	羽咋市立邑知中学校
愛 媛	39	久 万 川 竜 星	日陽館	京 都	39	小 川 紗 帆 里	宇治市立東宇治中学校
鹿 児 島	40	川 畑 雄 暉	鹿児島市立松元中学校	長 崎	40	坂 田 美 羽	長崎県立長崎東中学校
大 阪	41	野 口 晃 絆	浪速学院浪速中学校	群 馬	41	山 口 祈	群馬少年弓道クラブ
佐 賀	42	川 島 弘 大	早稲田大学系属早稲田佐賀中学校	島 根	42	伊 藤 優 那	大田市立第一中学校
大 分	43	甲 斐 唯 人	大分県選抜	徳 島	43	山 本 朋 華	徳島市城西中学校

第20回全国中学生弓道大会実行委員会 宛 / FAX: 03-6447-2981

提出期限: 令和5年8月14日(月) 必着のこと

第20回全国中学生弓道大会
JOCジュニアオリンピックカップ大会

事前質問書

1. 質問がある場合は、質問事項を記入して期日までに全日本弓道連盟まで送付ください。
2. 質問の回答は事前もしくは受付時に個別に回答し、全体に共有すべきと実行委員会が判断した内容については全体に配布する。

都道府県名	
チーム名	
監督名	
連絡先	携帯電話番号(自宅電話番号) メールアドレス

3. 質問事項

--

※ () 内は該当する箇所に○印

第20回全国中学生弓道大会実行委員会

提出期限：受付にて提出のこと

令和5年8月 日

立射申請書

競技委員長 殿

下記選手の立射を申請します。

(男子の部 ・ 女子の部)

(個人競技 ・ 団体競技)

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

参加申込時立順 個人競技の場合は不要	選手名	申請理由
番	ふりがな	

担当	全日本 弓道連盟	総務委員長	競技委員長
確認者印 又は 署名			

※ () 内は該当する箇所に○印

令和5年8月 日

選手変更届

競技委員長 殿

下記のとおり団体の選手変更をします。

(男子の部 ・ 女子の部)

予選立順 _____

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

提出先：中央道場内受付 8：30まで

選手の立順	旧選手名 (変更前)	新選手名 (変更後)
番	選手名	選手名

受付日時 8月 日 時 分

受付者 _____

※ () 内は該当する箇所に○印

令和5年8月 日

選手交代届

競技委員長 殿

下記のとおり (予選2回目 ・ 決勝トーナメント) から選手を交代します。

(男子の部 ・ 女子の部)

予選立順 _____

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

提出先：中央道場内受付

予選二回目招集まで

決勝トーナメント招集まで

選手の立順	旧選手名 (変更前)	新選手名 (変更後)
番	選手名	選手名

受付日時 8月 日 時 分

受付者 _____

※ () 内は該当する箇所には○印

令和5年8月 日

監督変更届

競技委員長 殿

下記のとおり監督を変更します。

(男子の部 ・ 女子の部)

(個人競技 ・ 団体競技)

予選立順 _____

都道府県 _____

チーム名 _____

監督名 _____

提出先：中央道場内受付
8：30まで

旧監督名 (変更前)	新監督名 (変更後)
ふりがな	ふりがな

受付日時 8月 日 時 分

受付者 _____